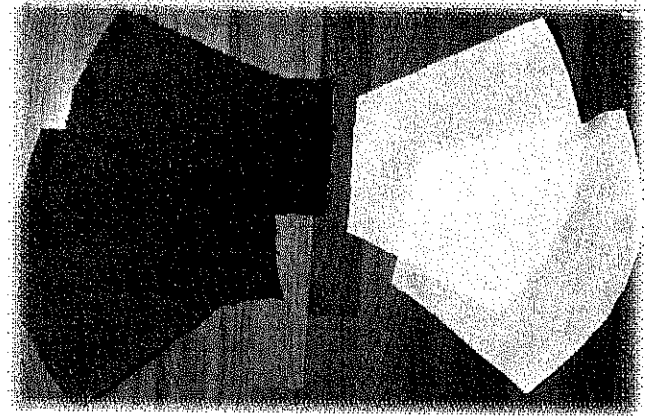


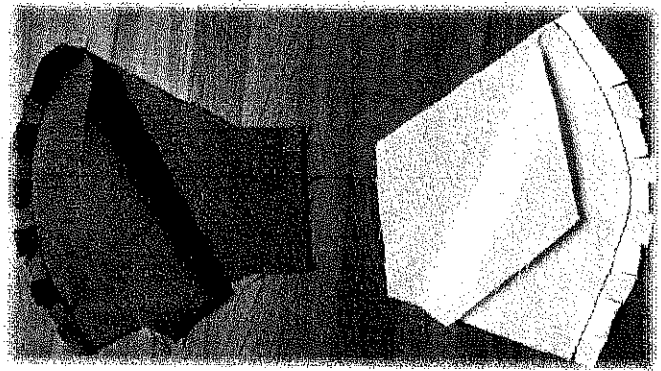
立体マスクの作り方



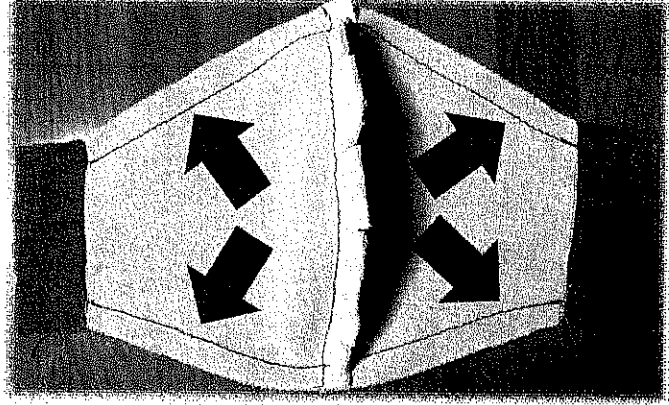
① ^{かたがみ}型紙に^{さゆう}そって^{さゆう}左右の^{かき}パーツ^{まい}を^{ごうけい}各^{まい}2枚^き(合計4枚)を切る。



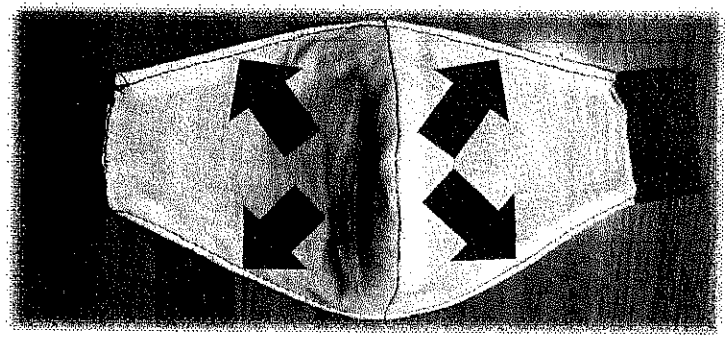
② ^{さゆう}左右の^{ちゆうしんがわ}パーツの^ぬ中心側^ぬを縫^ぬい^あ合わせ、^きカーブ^きに^こ切り込み^こを入れて^い開き^{ひら}形^{かたち}を^{ととの}整える。



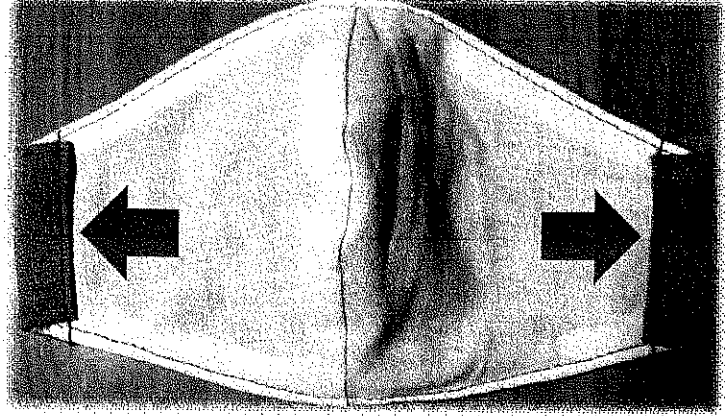
③ ^{なか}中^{おもて}表^あに合わせて^{じようげ}上下部^ぶを縫^ぬう。



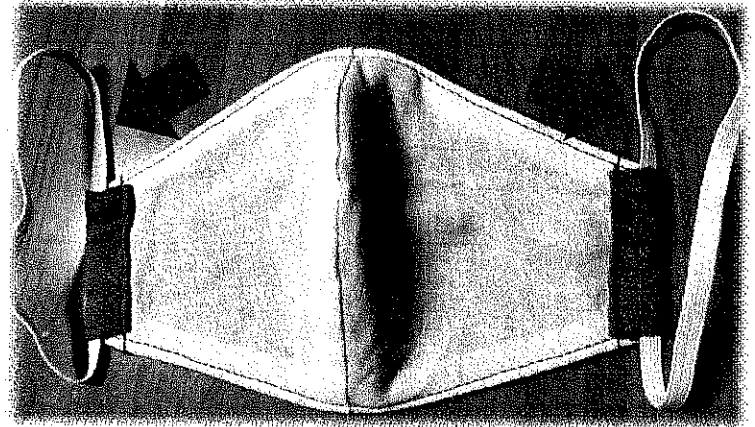
④ ^{おもて}表^{かえ}に返し、^{じようげ}上下^げに^おステッチ^おをかける。



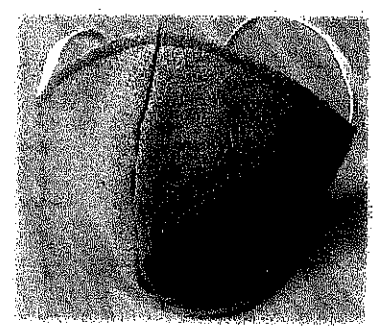
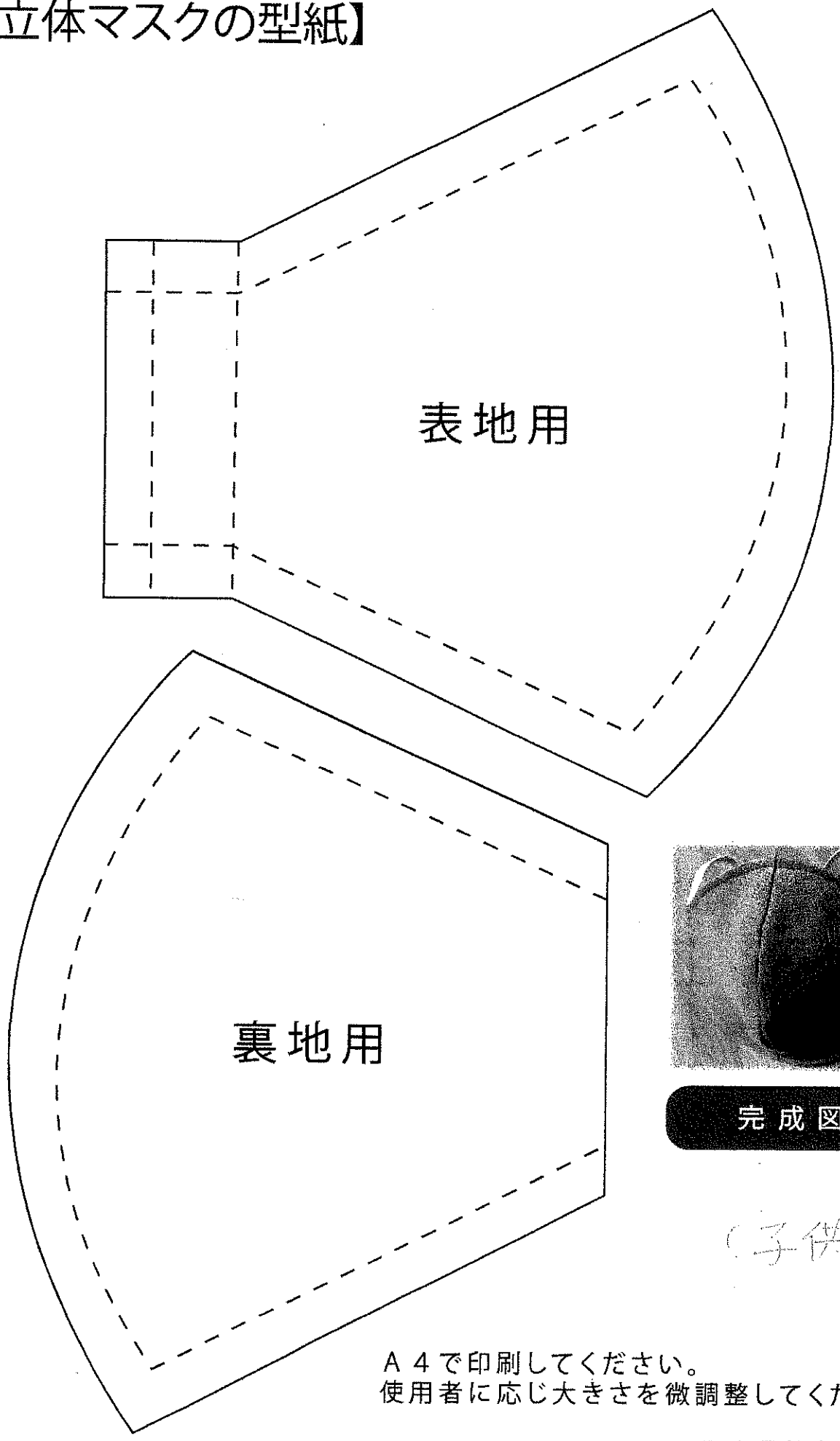
⑤ ^{おもて}表^{ぬの}布^{りようたん}の^み両端^みを^お三つ折^{うち}りで^{うち}内^{うち}側^{うち}におり^{うち}ステッチ^{うち}をかける。



⑥ ^{なが}長^{ちようせつ}さを^{とお}調節^{とお}して^{とお}ゴム^{とお}を通^{とお}す。
^{むす}結び^め目は^{なか}マスク^{なか}の中^{なか}に^{なか}しま^{なか}う。



【立体マスクの型紙】



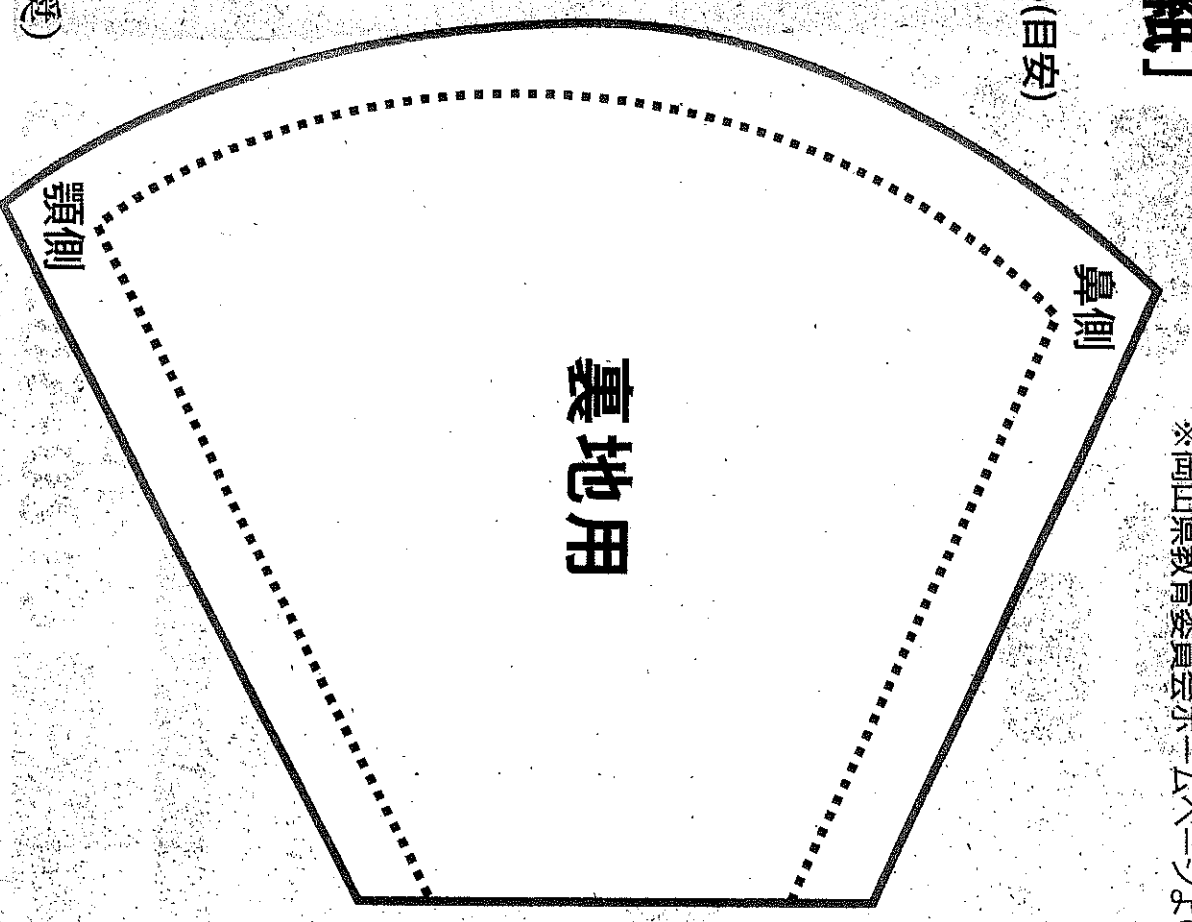
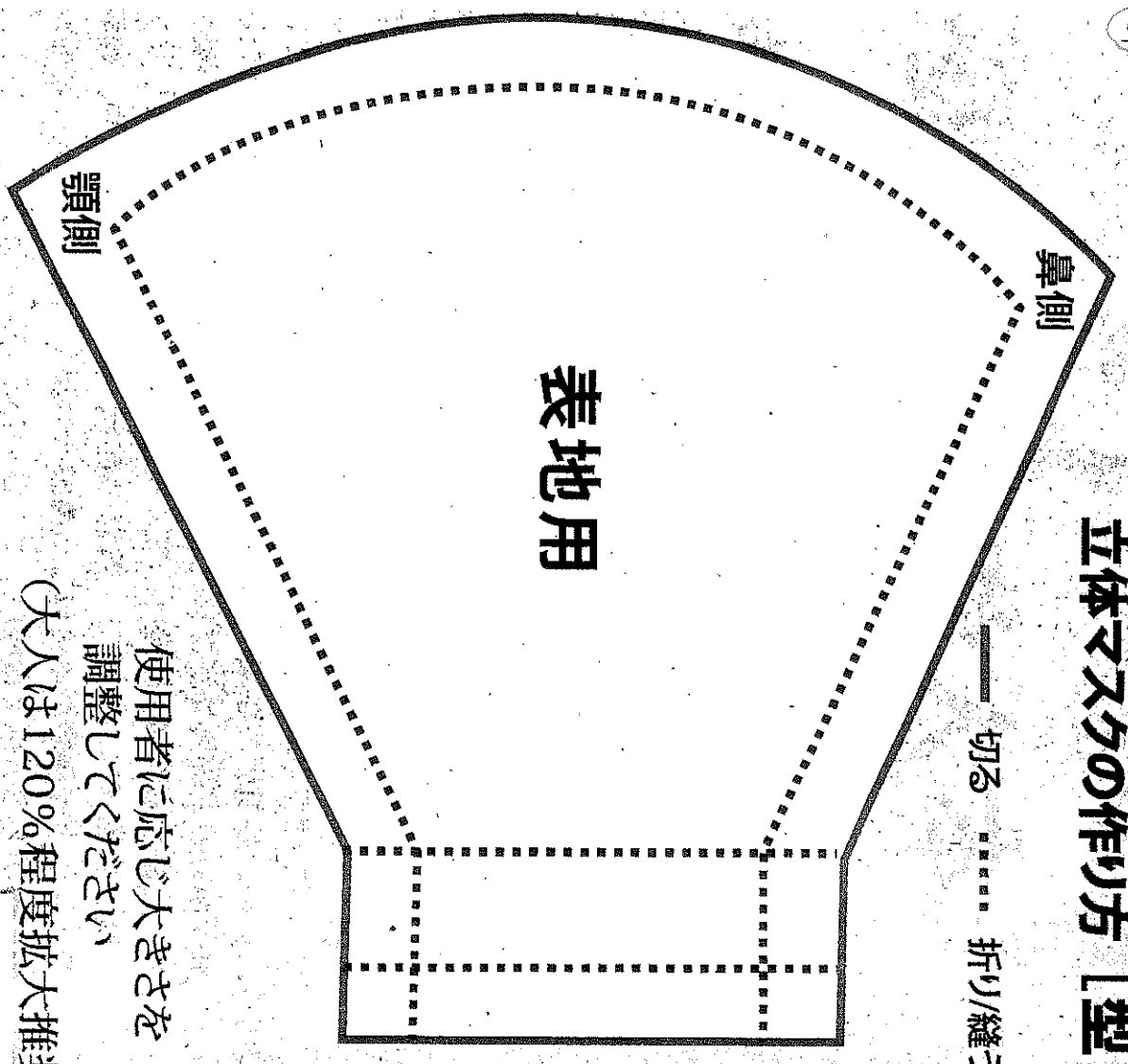
完成図

(子供用)

A 4で印刷してください。
使用者に応じ大きさを微調整してください。

立体マスクの作り方 [型紙]

※岡山県教育委員会ホームページより



使用者に忘れ大きさを
調整してください
(大人は120%程度拡大推奨)

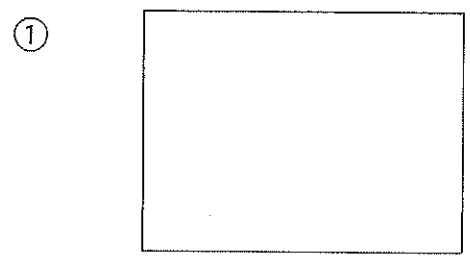
120%拡大 ↑

した型紙7枚

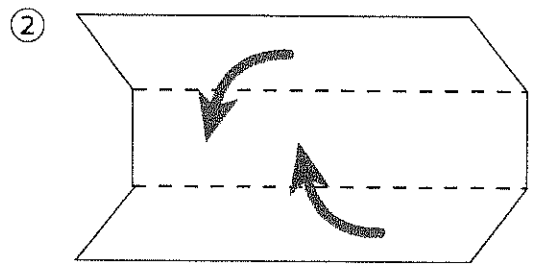
(大人用)

■手作りマスクの作り方 (平面タイプ)

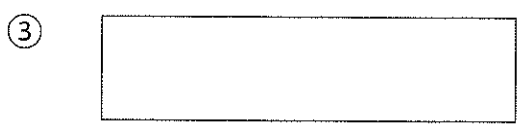
【材料】
 ○ガーゼ生地(布目の細かい布)(約40cm×約30cm)×1枚
 ○ゴムひも(約32cm)×2本
 ※ゴムひもは装着時に顔とマスクの間にすき間ができない長さにしてください。



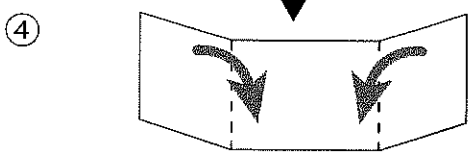
① 約40cm×約30cmの大きさの布を用意します。



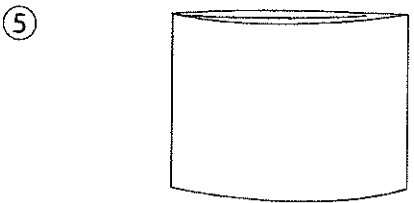
② 3等分の位置で上下を内側に折りたたみます。



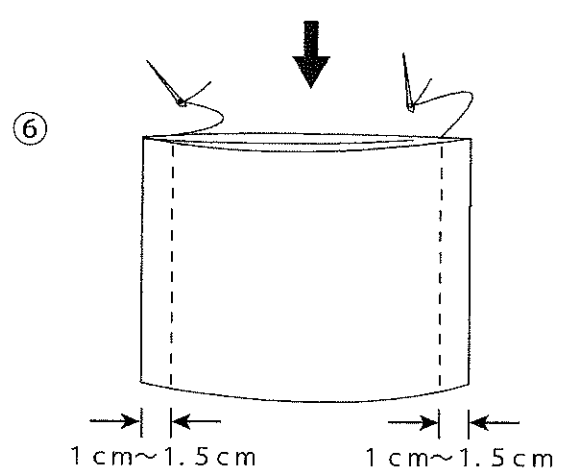
③ 布が3重になった細長いものができます。



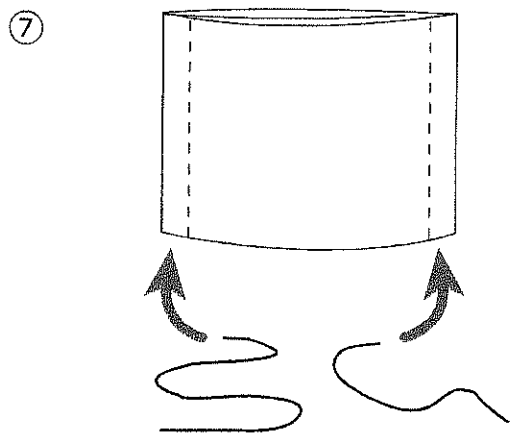
④ 3等分の位置で左右を内側に折りたたみます。



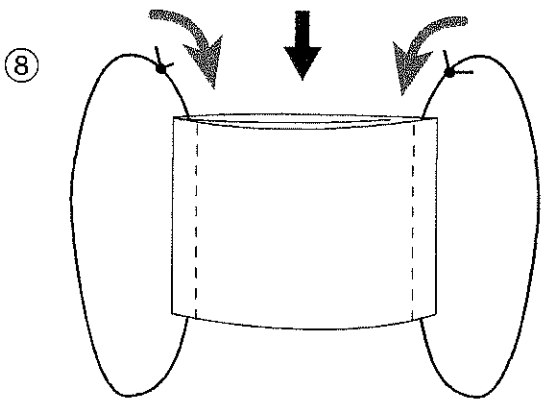
⑤ マスクの大きさのものができます。



⑥ ゴムひもを通す部分を作ります。左右の1cm~1.5cm内側を縫います。



⑦ 縫い付けた部分にゴムひもを通してゴムひもの両端を結びます。



⑧ ゴムひもの結び目をマスクの中に移動させると完成です。

環境の消毒法

図1に、微生物を消毒薬抵抗性が強い順にならべるとともに、消毒薬の抗菌スペクトルを示した。本図から明らかなように、ウイルスに対してはグルタラール(ステリゾール[®]、ステリスコープ[®]など)、次亜塩素酸ナトリウム(ミルトン[®]、「花王」メディカルハイター[®]液6W/V%など)、ポビドンヨード(イソジン[®]、ネグミン[®]など)およびアルコール(消毒用エタノール、70%イソプロパノール)などが有効である。しかし、グルタラール、フタラール(ディスオーバ[®])および過酢酸(アセサイド[®])などの高水準消毒薬は、蒸気毒性の観点から、環境に用いてはならない。また、ポビドンヨードは、高価で、かつ着色を生じるため、環境消毒には適さない。したがって、

環境に存在するウイルスの消毒には、次亜塩素酸ナトリウムやアルコールを用いる。

一方、環境に存在する細菌の消毒には、次亜塩素酸ナトリウムやアルコールに加えて、塩化ベンザルコニウム(オスバン[®]、ザルコニン[®]など)や両性界面活性剤(テゴ-51[®]、コンクノール[®]など)も有効である。

なお、アルコール清拭に際しては、引火性に注意を払うとともに、広範囲面積への使用を差し控える必要がある。また、次亜塩素酸ナトリウム清拭に際しては、脱色などの材質劣化を防止するために、消毒後の水拭きなどが必要になる場合がある。

以下に、各種微生物で汚染された環境の消毒法について述べる。

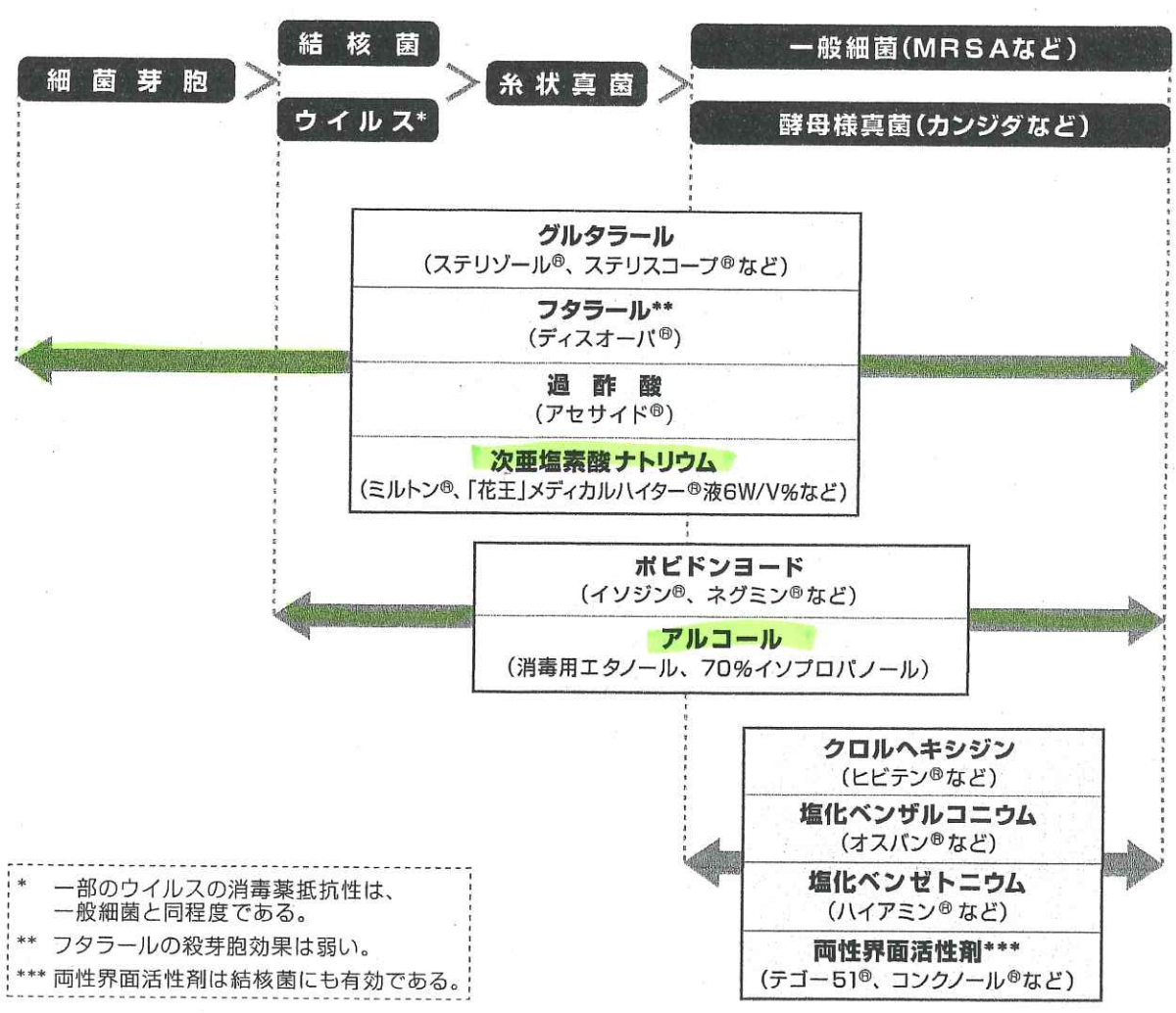


図1 微生物の消毒薬抵抗性の強さ、および消毒薬の抗菌スペクトル